

はじめの一歩

～はじめてのキャンプ体験～

3月26日(木) ～ 3月27日(金)

IN 甲山自然の家

	午前	午後	夜
1日目	集合、ハイキング	レクリエーション大会	キャンプファイア
2日目	清掃、野外炊飯	ハイキング、解散	

一日目： 初めのお泊まりや初めてのキャンプというメンバーが多くワクワクソワソワしながら各集合場所に集まりました。仁川駅で全員が揃い、甲山公園までのハイキングからキャンプが始まりました。途中、想像以上に長い道のりにあちらこちらから弱音が聞こえました。しかし、頑張りたい気持ち、キャンプを楽しみたい気持ちをそれぞれが口にする姿が見られ、キャンプに対する意気込みを強く感じました。ゴールの公園でお弁当を食べ、午後からはレクリエーションを楽しみました。今回のレクリエーションはグループ対抗戦で行い、この勝敗で2日目の野外炊飯の食材が決まります。それを聞いたみんなは更にやる気を増し、一生懸命作戦を考えていました。たくさんのレクリエーションをしましたが、勝っても負けても笑顔で走り回る姿が印象的でした。施設に入所後、部屋で束の間の休憩時間…かと思いきや、少しの空き時間でも「遊びたい！楽しみたい！」という思いが強く、気づけば研修室にみんなが集まり遊んでいました。夕食を食べ、楽しみにしていたプログラムのひとつキャンプファイアが始まりました。みんなで火を囲み、歌ったり、踊ったり、最後まで大盛り上がるの時間となりました。長い一日もようやく終わり、入浴を済ませ、おしゃべりをしていたみんなも布団に入るとすぐに夢の中でした。明日はどんな楽しいことが待っているかな？今日よりもっと楽しい一日にしよう！



二日目： 起床時間と同時に元気な声が施設に響き渡りました。身支度、荷物整理、布団の片付け、部屋の清掃と次から次へとこなしていきます。朝のつどい、朝食、共有スペースの清掃も済ませ、2日目のメインプログラム「野外炊飯」がスタートしました。かまど・お米・カレーの3つの係に分かれ、1日目にゲットした食材を使って、グループごとに調理していきます。お米を洗ったり、野菜を切ったり、かまどに火をおこしたりと初めてだらけの様子でしたが、リーダーの説明を真剣に聞き、お父さんお母さん達が料理している姿を思い出しながら挑戦していました。経験のあるメンバーも一緒にやる友達が違うと役割も変わり、新たな楽しみを見つけているようでした。グループによって悩むポイントは様々でしたが、最後はみんなで味見をし、「よし完成！」と嬉しそうな表情でお皿に盛っていました。余程お腹が減っていたのか、ペロリとたいらげ、満足そうでした。みんなで「ごちそうさま！」をした後は片付けに取り掛かりました。なかなか上手いかず投げ出していたメンバーも、コツを教してもらい食器がきれいになると楽しくなったのか最後まで洗っていました。全てを洗い終え、器材もきれいに返却し、施設を出発する時間になりました。最後のプログラムはハイキング。1日目の最初に歩いた道のりを帰ります。行きよりも少し長い距離でしたが、みんなで気合いを入れ、歩きまりました。最後に、2日間頑張った自分とみんなに拍手を送り解散しました。

<キャンプ総括>

キャンプ初参加のメンバーにとっては、とても長い二日間の大冒険。泣いたり笑ったり、遊んだり喧嘩したり、たくさんの初めての中で“みんながいるから楽しい！”だけではなく、時にはしんどいことも我慢しなければいけないこともありました。私はそれも一つの経験、集団行動での学びだと思えます。また、しんどい気持ちのときにこそたくさん悩みたくさん考えます。「こうしたら上手くいく」と成功を示すことは簡単ですが、失敗しても「もう一回！」と挑戦できる環境や悩み考えることのできる時間をつくっていきたくて強く感じたキャンプでした。普段と違う新しい場所に一步踏み出したみんなの勇気をこれからも見守り、一緒に考え悩みながら、また新しい一步を踏み出す姿を見られることを心より楽しみにしております。(生本 ひろみ)